

2007 年 若 手 の 会 サ マ ー ス ク ー ル

— 人 と 環 境 に や さ し い マ テ リ ア ル —

日本油化学会若手の会は、研究者間の幅広い交流を目的とした若手研究者の集まりで、毎年夏、産学官において最先端の研究を行っている研究員を招いて「サマースクール」を開催しています。今年のキーワードは「人と環境にやさしいマテリアル」です。気軽な雰囲気の中、講師の先生方と、また若手参加者同士のコミュニケーションがはかれるサマースクールです。多数の方の**クール・ビズ (COOL BIZ)** でのご参加をお待ちしております。

主 催 日本油化学会若手の会

協 賛 日本化学会

日 時 2007 年 8 月 2 日(木)～ 3 日(金)

会 場 あいち健康プラザ

(〒470-2101 愛知県知多郡東浦町大字森岡字源吾山 1-1 TEL 0562-82-0211)

[交通] JR 大府駅西口より知多バスにて 12 分

スケジュール

第 1 日 8 月 2 日 (木)

12:00～12:30 参加登録

12:30～12:40 開会挨拶

12:40～13:30 特定保健用食品 サントリー『黒烏龍茶』の開発

サントリー(株) 中井 正晃氏

現代人の脂肪の摂り過ぎが問題視されている中、ウーロン茶特有の成分であるウーロン茶重合ポリフェノール (OTPP) に脂肪の吸収を抑える効果を発見し、特定保健用食品としての開発に成功した。今回、その経緯について紹介したい。

13:40～14:30 『大豆ペプチドと β -コングリシニン』

不二製油(株) 馬場 俊充氏

近年、健康への関心が高まる中、日本の伝統食材である大豆が注目されています。本題では、大豆の蛋白質から生まれた健康機能素材として、「大豆ペプチド」と「 β -コングリシニン」について新しい知見を交えてご紹介致します。

14:40～15:30 『自動車用プラスチック材料の開発 - ポリマー系ナノコンポジットとバイオプラスチックを例にして- 』

豊田中央研究所 臼杵 有光氏

自動車用材料には軽量、高剛性、高耐熱性などが要求される。その課題解決のためにポリマー中に粘土をナノメートルレベルで分散させたハイブリッド材料を種々創製し、材料を開発してきた。近年は環境重視の材料開発が主体であり、植物由来のポリマーも

開発している。たとえばポリ乳酸がその一例であるが、耐熱性、耐衝撃性が不足している。そのため粘土やゴム成分を添加することにより改良を行なってきた。その研究の一端を紹介する。

15:40～16:20 一般発表

18:00～20:00 懇親会

第2日 8月3日（金）

7:30～ 8:30 朝食

9:00～ 9:50 『バイオリズムに学ぶマテリアル創製 -自己組織化を本質から考え直す-』

慶應義塾大理工 朝倉 浩一氏

時間周期的・空間周期的バイオリズムが発生するメカニズムを、自己組織化という概念に基づいて理解すると、マテリアル創製の様々な場面で要求される「空間周期構造」が、容易に形成可能となります。

10:00～10:50 『光合成原料を溶媒とする分子集合体の形成制御とその応用』

弘前大院理工 鷲坂 将伸氏

光合成原料の「水」と「二酸化炭素」を複合した系の分子集合体は、環境調和型機能性溶媒として様々な化学工業の分野から注目を浴びている。本発表では、それら分子集合体の形成挙動や応用について触れる。

11:00～11:50 『二酸化炭素由来生分解性ポリマーの合成触媒の開発と構造制御』

東京理科大工 杉本 裕氏

生分解性脂肪族ポリカルボナートの合成法の一つである二酸化炭素とエポキシドの交互共重合のための触媒開発を概説する。また機能向上へのアプローチとしてポリマー構造の制御を紹介する。

12:00～12:30 閉会挨拶，記念撮影

参 加 費	(宿泊、懇親会、朝食費を含みます。各日の昼食費は含みません。)
	日本油化学会普通会員・法人会員会社勤務者、学校官公庁勤務者、 協賛学会個人会員・法人会員
	20,000 円
	学 生
	8,000 円
	非会員
	25,000 円

*懇親会の後も引き続きミキサーを行いますので、基本的に参加者全員に宿泊をお願いしておりますが、ご自宅が会場の近くで宿泊されない方^{a)}、および一日だけの参加希望の方^{b)}も併せて募集しております。詳細は下記参加申込先までお問い合わせ下さい。

- a) 宿泊されない場合は、油化学会会員・学校官公庁勤務者・協賛学会会員 15,000 円、
学生 6,000 円、非会員 20,000 円。
- b) 1 日のみの参加の場合は、油化学会会員・学校官公庁勤務者・協賛学会会員
10,000 円、学生 6,000 円、非会員 15,000 円。

募 集 人 員 80 名

参加申込締切 7 月 23 日 (月)

参加申込先 日本大学薬学部 橋崎 要

TEL&FAX: 047-465-6895, E-mail: khashiza@pha.nihon-u.ac.jp

参加申込方法 申込書に必要事項をご記入の上 FAX で、または同内容を明記の上 E-mail
でお申し込み下さい。

参加費支払方法 参加費は 7 月 25 日 (水) までに 下記の銀行口座にお振込下さい。なお、
振込手数料は参加される方のご負担とさせていただきます。

三井住友銀行 飯田橋支店

口座番号：普通 6860235 名義：日本油化学会若手の会 代表 近藤行成

----- きりとり線 -----

2007 年 若手の会サマースクール参加申込書			
氏名 (ふりがな)		年 齢	性 別
		歳	男・女
所 属			
連絡先	TEL		
	FAX		
	E-mail		
資 格 (該当するものに○)	油化学会普通会員・法人会員勤務者・学校官公庁勤務者・ 協賛学会個人会員・法人会員 20,000 円 学 生 8,000 円 非会員 25,000 円 その他 (宿泊無し・1 日のみ) の参加 () 円 (宿泊無し 油化学会会員・学校官公庁勤務者・協賛学会会員 15,000 円、学生 6,000 円、非会員 20,000 円) (1 日のみ 油化学会会員・学校官公庁勤務者・協賛学会会員 10,000 円、学生 6,000 円、非会員 15,000 円)		

2007 年若手の会サマースクール一般発表募集！

油化学若手の会サマースクールでは，2005 年度より一般発表の部を設けました。最新の研究成果だけでなく，各企業の得意な技術や新商品をどんどんご紹介ください。また，学生さんによる研究室紹介也大歓迎です。発表時間は 15 分程度（質疑応答を含む）です。

発表申込

発表を希望される方は下記の申込書に必要事項をご記入の上，FAX または同内容の E-mail にて下記までお申し込み下さい。

発表申込締切 7 月 6 日（金）

発表要旨

A4 用紙 1 枚に，(1)発表題目(2)所属と発表者名（3）研究内容あるいは研究室紹介の内容をご記入いただき（スタイルは自由），電子メールの添付ファイル(PDF または Word 形式)にて下記までお送り下さい（FAX 不可）。

発表要旨提出締切 7 月 13 日（金）

発表申込および発表要旨提出先

日本大学薬学部 橋崎 要

TEL&FAX: 047-465-6895, E-mail: khashiza@pha.nihon-u.ac.jp

-----きりとり線-----

若手の会サマースクール一般発表申込書	
発表題目	
所属と発表者氏名 (講演者に○印, ふりがな明記)	
申込者氏名	
申込者連絡先	〒 TEL FAX E-mail